

2021年度決算概況

原材料費の高騰並びに需給バランスの逼迫を主要因とした鋼材市況の急回復、高値安定に加え、国内・海外スチールサービスセンター事業の収益改善も寄与し、大幅な増益となりました。

	2020年度	2021年度	差異
単体純利益 (日本会計基準)	56億円	79億円	+23億円
単体総資産 (日本会計基準)	1,362億円	1,597億円	+235億円
SCGMグループ 管理純利益※1 (非監査、国際会計基準)	▲55億円 ※2	266億円	+321億円

※1 「SCGMグループ管理純利益」には、①当社及び②当社の関係会社に加えて、③当社の親会社である住友商事株式会社（以下、SC）の金属事業部門鋼材本部（以下、SC鋼材本部）傘下で当社が直接資本関係を有さないSCの関係会社（以下、SC鋼材本部傘下の関係会社）、及び④SC鋼材本部及びSCの海外地域組織の鋼材事業に関連する利益を含めております。

「SCGMグループ管理純利益」に③及び④に関連する利益を含めているのは、当社はSC鋼材本部傘下の関係会社（③）の運営並びにSC鋼材本部及びSCの海外地域組織の鋼材事業（④）に関連する取引遂行に対しても、SCとの業務受託関係や共同での戦略立案・推進等を通じて現に関与・支援していることを理由とするものです。

※2 2020年度SCGMグループ管理純利益は、21年4月に当社傘下の子会社の一部をSC他部門へ移管したことを反映しております。

Topics

単体純利益

・21年度は鋼材市況急回復・高値安定により+23億円となった。

単体総資産

・21年度は市況高騰により債権・在庫も影響を受け、+235億円となった。

SCGMグループ 管理純利益

・20年度は一過性損失有、加えて鋼材市況急回復等により、21年度は+321億円の大幅増益となった。